



# マルト便

MARUTO INFORMATION

ホームページが新しくなりました

マルト商事

検索

お客様の笑顔のために...

## チャレンジ

4月号 APR 2017

<http://www.maruto-shoji.co.jp>



## ニュージーランド産玉葱

4月に入りました。日ごとに気温が変化しています。4月1日の最高気温予報は10℃です。東京における最高気温の目安からすると2月上旬から中旬の気温です。今年の東京の桜開花宣言は3月21日でした。平年より5日早い宣言となりましたが、4月1日時点ではまだ3~4分咲きというところでしょうか。3月後半は気温があまり上がってこなかったように思います。今年の桜は長持ちをしそうですから、入学式シーズンにはまだまだ美しい桜が見られることと思います。

玉葱もスーパー店頭では新玉葱が並び始めました。九州産の早生玉葱出荷が始まっています。この時期は加熱調理に適した北海道産の玉葱とサラダのような生食に適した九州産玉葱の両方が食べられる、玉葱好きにはたまらない時期ではないでしょうか。早生玉葱の本格出荷は西の方から順次スタートしてきます。関東では5月中旬から早生玉葱が出荷されますので、概ね3月中旬~5月にかけては柔らかい早生玉葱が楽しめます。勿論弊社でも取扱いをしておりますので、ご入用の際はお問い合わせください。

一方加熱調理に適した固い玉葱については北海道産が5月上旬ころまで出荷されます。その後の固い玉葱として弊社においてはニュージーランド産玉葱を品揃えしております。ニュージーランドの緯度は北海道とほぼ同じで、南半球ということで季節が逆になります。つまり北海道産玉葱と同等のものが栽培可能なのです。4月中旬から8月の期間にてニュージーランド産玉葱を加熱調理向け玉葱として国産と同様の管理のもとお取扱いをしております。

ということで、今期契約商品の確認に2月28日から3月2日にニュージーランド契約玉葱の圃場視察、今期商品の確認をしてきました。今回は主契約を行っている生産者、出荷者を中心に3社を訪問し、また勉強のためにニュージーランドの野菜加工工場を視察させて頂きました。

ニュージーランドの玉葱は1月末から2月までが例年の収穫期間となります。今期については収穫期の降雨の為、若干遅れているとのことで3月中旬まで収穫作業を予定しているとのことでした。

ニュージーランドでは今年に入ってから大干ばつとなっており、農作物に大きな影響が出ているという前情報がありました。今回の視察ではその状況を把握することも大きな目的の一つでした。

弊社が主契約を結んでいるのがSOFRESH社です。30年以上のお付き合いとなります。黄玉葱、赤玉葱の契約をしています。SOFRESH社では玉葱を1000ha栽培しています。玉葱の大産地であるブケコへ地区とマタマタ地区、土壌の性質が異なる2か所で栽培を行っています。今期状況としては玉葱生育中期となる10月から12月にかけては日照は少ない状況でしたが、適度に水分があり、玉葱にはまずまずの気候であったとのこと。1月から先述の通り干ばつとなりました。しかしながら玉葱圃場には灌水設備がしっかりと入り、病気、虫の発生もなく非常に良い状態で生育が進んだとのことでした。生育ステージの異なる南瓜などは干ばつにより大きな被害が出ているとのことでしたが、収穫中の玉葱を確認するといずれもサイズ・品質も良好な状態であると判断しております。

圃場・選果場・貯蔵施設を視察し、今期契約の確認を行いました。ニュージーランド産玉葱はどうしても北海道産の作柄、九州産の作柄の影響を受け、日本国内産地の状況次第で契約量が毎年変動してしまいます。その影響でどうしても出荷側としても相場で動く傾向が強くなってしまいます。弊社としてはニュージーランド産玉葱も国内産地と同様の位置付にて、お客様の用途性にプライオリティを置き、選択肢に加えていきたいと考えています。ニュージーランドとの契約は概ね12月には確定となります。加熱調理用途での玉葱使用をされているお客様におかれましては、今期はスポットとなってしまいますが、年間産地カレンダーに乗せて頂くことを是非ご提案させて頂ければと思います。栽培から出荷、トレーサビリティのシステムについても日本同様、もしくはそれ以上の管理を行っています。お客様の業務に安定的に貢献できる産地であると考えています。

国内府県玉葱産地はこれから勝負となってきます。早生玉葱は概ね良好と思われませんが、府県の最大産地である佐賀県産を中心に今年は苗の定植が遅れている傾向があります。また2年続いているべト病の影響もどの程度抑えられているのか。昨年は4月中旬から状況が一変してしまったこともあり、まだまだ気が抜けない状況です。特に中晩生種が不足となれば7月～8月の相場高騰再来もあり得ます。

ニュージーランド産玉葱も概ね良好とは思いますが、収穫期に雨が入っていることもあり、貯蔵中期以降の品質は懸念材料です。今後入ってくるスポット商品の価格も国内価格に左右されます。現時点ではニュージーも非常に強気です。

今年も非常に難しい年となりそうです。常に情報を共有させて頂きながら進めさせて頂きます。

## 営業課長中村のマルチ便PLUS! Ver2017

今月もどうぞよろしくお願いたします。  
4月のマルチ商事玉葱産地情報&見通しをお届けします!



取扱産地	産地状況 & 今後の見通し
国産	北海道産は終盤になりました。使用期間を試験的にではありますが一部6月まで延ばします。品質が落ちやすい時期ですので原料在庫を少なくし、劣化を防いでいます。原料品質は良好です。出回っている数量が少なく、市場相場は高騰しています。契約品を大事に剥いております。
中国	甘粛省から雲南省への切替時期。例年4月上旬から使用する雲南省産は高値スタート、さらに韓国による買い付けが重なり高騰しているため、品質良好な甘粛省産を引き続き使用中。4月下旬頃お届け分から切替予定です。5月中旬までは高値推移見込。
NZ(黄玉、赤玉)	アメリカからNZへ切り替えます。赤玉葱は中旬以降の切替です。出始めということで、品質は良好です。

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。  
お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315